



J u k u g i

熟議

2018 in 兵庫大学

加古川地域に住み続けたい、そして働き続けたい、
加古川地域の特色を生かした雇用創出について解決策を考えます。



《テーマ》

しごとと創り

2018.11.18  10:00~16:00

- ▼ 目 的 世代を超えて、地域課題の解決にむけて考える
- ▼ 場 所 兵庫大学 17号館407教室
- ▼ 参加費 無料（当日は飲み物、昼食を用意します）
- ▼ 参加対象 高校生、大学生を中心とした地域づくりに関心のある方
- ▼ 参加要件 自宅での事前学習が可能な方
- ▼ 申 込 兵庫大学「熟議」専用ホームページから

- ▼ 主 催 兵庫大学・兵庫大学短期大学部
- ▼ 共 催 加古川市
- ▼ 後 援 兵庫県、兵庫県教育委員会、高砂市、稲美町、播磨町、
加古川市教育委員会、高砂市教育委員会、
稲美町教育委員会、播磨町教育委員会、加古川観光協会
(公財) 兵庫県生きがい創造協会、神戸新聞社、
BAN-BAN ネットワークス株式会社

ありがとうのプロフェッショナルへ。

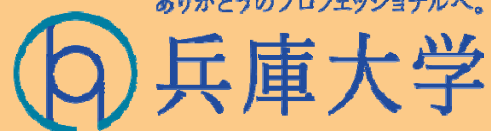
兵庫大学 学長室

〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301

TEL: 079-427-9551 FAX: 079-427-9552

Mail: Address: p-office@hyogo-dai.ac.jp

兵庫大学 熟議



熟議

2018 in 兵庫大学 ～しごと創り～

【熟議2018 in 兵庫大学について】

テーマ:しごと創り

熟議（熟慮 + 議論）は、自分たちの住む地域の課題を発掘し、その課題への対応策を熟考し、自らが解決に向けて実行することにより、課題解決を市民自らが考え、担う機会とすることを目的としています。

また、「熟議 2018 in 兵庫大学」は、将来を担う高校生・大学生を主要な参加者とし、政治参画の必要性と市民自らが地域に変化をもたらす存在であることの意義を共に考える機会でもあります。シティズンシップ（市民資格）教育に立脚する兵庫大学熟議手法は若年者の主権者教育にも資するといえます。

2018年度のテーマには、「しごと創り」において地域課題の解決を取り上げます。地域の活性化のためには、将来を担う若者が地元に残り、地域の資源や特性を活かした新たな雇用の創出や新事業の展開が、まちの発展につながります。既存の職にこだわることなく、新しい発想でまちづくりを考えてみませんか。



【11月18日（日）当日プログラム】

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:15	開会・テーマ等の説明
10:15～12:00	第一段階議論（ワークショップ）
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	第二段階議論（ワークショップ）
15:00～15:45	議論の結果の共有・講評等
15:45～16:00	閉会

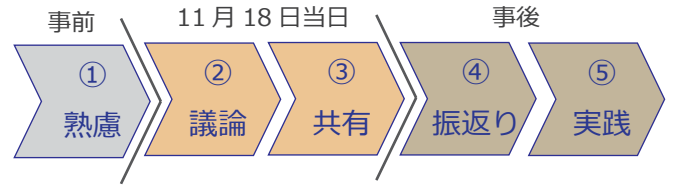
※飲み物弁当を用意しております。

※JR 東加古川駅北口からスクールバスを運行しています。

※駐車場、駐輪場をご利用いただけます。

【熟議の流れ】

兵庫大学「熟議」は以下の5つの段階を踏んで進めます。



①熟慮の段階（事前学習）

※「熟議 2018 in 兵庫大学」参加者は、必ず自宅にてWEB学習を行い、期限までにレポートを提出してください。

10月15日（月）～11月3日（土）

映像配信で学習の理解を深めます。

- ① 起業のススメ
- ② 多様な働き方と在宅勤務（仮題）
- ③ NPOによるしごとづくり
- ④ しごとづくりに関するお金の役割
- ⑤ 文化を観光に活かす（仮題）
- ⑥ ホスピタリティを活かしたしごとづくり
- ⑦ AIとIoTを活用するビジネス
- ⑧ 健康をビジネスに
- ⑨ 加古川地域の産業と経済
- ⑩ まち・ひと・しごと創生総合戦略

WEB学習の過程において、専用サイトで質問を行うことができます。熟慮にお役立てください。

「熟慮」のレポートを完成させ、熟議専用ホームページからレポート提出をしてください。提出いただいたレポートは、熟議当日に使用します。

②議論の段階（11月18日当日）

- 第一段階議論 100分（ワークショップ）

熟慮を通して考えた「しごと創り」をグループ内で共有し、発表します。

- 第二段階議論 120分（ワークショップ）

地域の活性化に向けたしごと創りについてグループで議論します。

③共有の段階

グループ毎に、成果物を紹介し、参加者全員で共有します。

④振返りの段階（仲間づくりと自分の成長を振り返る）

参加者は熟議終了後アンケートに回答し、兵庫大学はアンケート結果を含む活動報告をホームページに掲載します。

⑤実践の段階（個々の活動）

それぞれの立場で、それぞれの考え方をもち、共に活動することが期待されます。

兵庫大学はその後押しとなるような活動を継続します。